



こんにちは 府会議員

# さこ祐仁

活動報告

2008年12月14日発行 No.69

千本出水下る十四軒町392

さこ祐仁事務所

Tel.075-813-2117

## 大銀行の中小企業への貸し渋り、派遣労働者を年末の寒空に放り出すようなことは絶対に許せない！ 大企業が雇用を守る社会的責任を果たし、政府が中小企業の経営を支援する緊急の手だてを！

アメリカの金融危機に端を発した急速な景気の悪化が、労働者と中小零細業者に深刻かつ重大な打撃を与えています。

大企業の「派遣切り」「期間工切り」相次いで発表され、年の瀬を迎え、大量の失業と中小企業の倒産の危険が現実化してきています。雇用と中小企業を守る実効ある対策が求められています。共産党府会議員団は府内の中小業者、商工会議所などを訪ね調査を行なってきました。

久御山の大日本スクリーンの二次下請けの方は、インテル社の機会型枠を息子さんと二人で製造し、11月の機械を納品したら、もう仕事がない。また日本写真印刷の下請けの方は、毎月100万円の売り上げがあったが、9月以降減少し、12月から全くなくなる。1780万円の設備投資を行い、毎月20万円の返済を行ってきたが、これからどうなるのかと悩んでおられました。



写真(上) 京都南部での視察のひとコマ。

### ◎さこ駆け歩き

上京民主商工会創立50周年レセプションに参加してきました。

1959年に創立され、中小業者の営業とくらしを守って半世紀。つねに「一人はみんなのために、みんなはひとりのために」を合い言葉にし、みんながよくなってこそ中小業者の生活も良くなる。また政治を民主的に変えるため革新政治を求めて闘ってきた中で多くの人に支持され、前進してきた50年の歴史。その民商に私も27年間、事務局員として在籍し、一緒に仲間として運動に参加できたことを誇りに思います。



が減少しました。社長の給与はとれない。それでも、地域で過ごす、従業員のことをおもい、解雇をせずに頑張っておられます。

12月5日には、わが党議員団は府が補助金を交付している企業の一つであるジャトコ八木工場に対して「雇用を確保し地域経済への貢献を求め」申し入れを行いました。応じたジャトコ八木工場の幹部は「現在働いている派遣労働者107名全員、契約途中を含めて、12月20日まで雇用を打ち切る。300名近くいた派遣労働者をこれでゼロにする」ことを明らかにしました。また解雇については、京都府にも連絡していることを述べました。

ジャトコは日産自動車のグループ会社で、非上場ながら年間売上高が5100億円もの大企業です。親会社の日産自動車は08年9月中間期の連結決算で2027億円の経常利益を上げており、雇用を維持する体力は十分にある。まして、ジャトコ八木工場は、雇用の拡大をうたい、知事が先

頭にたって誘致し、府が補助金を交付している工場です。

こうした企業で派遣労働者が全員解雇され、年末に路頭に放り出す事態を作り、さらに契約途中の労働者の解雇は、労働契約法違反ともいうべきものです。府内の雇用と地域経済に重大な影響を与えるこのような解雇を許さないため、京都府の責任は重大であり、12月8日に「ジャトコ八木工場における派遣労働者解雇の撤回と社会的責任を果たさせることを求める緊急申し入れ」を山田知事に行ないました。

厚生労働省は9日に、非正規切り防止の通達を労働基準法に違反していない場合でも、労働契約法や裁判の判例を踏まえ、不適切な解雇・「雇い止め」をしないよう企業に「啓発・指導」することを全国の労働局長に出しました。日本共産党志位委員長と麻生首相との党首会談(5日)で、政府として強力な指導をするよう求めましたが、その具体化の一步が踏み出されま